

令和元年度新宿区環境マネジメント活動結果

●区のエネギー使用量等の実績

令和元年度は、各項目において「平成 30 年度の実績から 1.0%以上削減すること」を目標として取り組みました。達成状況は以下のとおりです。

項目	元年度実績	元年度目標 (30 年度実績 1%減)	対目標比 (実績/目標)	達成状況
①電気	3,738 万 7,641 kWh	3778 万 6,445 kWh 以下	98.9%	達成
②ガス	335 万 7,652 m ³	324 万 6,203 m ³ 以下	103.4%	未達成
③水	74 万 109 m ³	74 万 8,572 m ³ 以下	98.9%	達成
④ガソリン	5 万 9165 ℓ	5 万 8,950 ℓ 以下	100.4%	未達成
⑤用紙	1 億 2,030 万 236 枚	8,532 万 5,574 枚 以下	141.0%	未達成
⑥ごみ	104 万 4,592 Kg	95 万 5,686 Kg 以下	109.3%	未達成

●建物単位でのエネルギー使用量の前年度比較（全 135 建物単位）

① 電気

各課・各施設において様々な工夫を行いながら省エネ活動に取り組んだことにより、目標を上回る約 2%削減を達成しました。

② ガス

ガス使用がある 121 建物中、本庁舎をはじめとする 70 建物については前年度より使用量を削減できました。使用量が増加した施設では、稼働率の向上や体育館等の空調設備の新設が要因と考えられます。

③ 水

各課・各施設の節水の取組により、目標を上回る約 2%削減を達成しました。

④ ガソリン

公共交通機関の積極的な利用やエコドライブ、効率的なルート運行などの取組により、前年度より使用量を削減できましたが、目標にはわずかに届きませんでした。

⑤ 用紙

隔年発行の「くらしのガイド」の作成年度であったことや防災マップ・ハザードマップの作成及び各種計画等の作成により使用量が増加しました。

⑥ ごみ

可燃ごみは 71 建物で増加しており、多くが保育園又は子ども園でした。令和元年 7 月より使用済みオムツの各園廃棄を開始したことによる増と考えられます。

不燃ごみは、一部施設の改修工事や備品整理等により増となり、ごみ全体で増加となりました。

●環境目標と達成状況について

1) 各課・各施設の実態にあった良好な取組と評価

対象課・施設	目標	評価
戸籍住民課	<p>繁忙期以外の時期に、完全ノー残業デーを年5回実施します。</p> <p>残業の必要がある時は、火曜日の窓口延長時の残業を促すことにより、節電に取り組みます。</p> <p>平成30年度実績：4回</p>	<p>7月から2月に完全ノー残業デーを設定して取り組み、7月、8月、12月に各月1回と2月に2回の計5回、完全ノー残業デーを達成することができました。</p>
西落合児童館	<p>イベント等で使用する容器を繰り返し利用可能な環境配慮型のものに変更します。従事者はペットボトルの持ち込みを控え、マイボトルを繰り返し使うようにします。利用者にも協力を仰ぎます。</p>	<p>年間を通してペットボトル容器を利用する会議・イベントはなかったです。環境配慮の周知の現れとして利用者のマイボトルの持ち込みが増えています。</p>
介護保険課	<p>マイボトルを持参することで環境に対する意識を持ってもらい、ペットボトル等の使い捨てプラスチックの削減を目指し、職員の意識啓発を行ないます。</p> <p>会議等の飲料の提供時はペットボトル飲料をやめます。リユースの取組を検討しますが、それまでは紙パック飲料とします。</p>	<p>職員にマイボトル持参を呼びかけ、ペットボトル等プラスチックの使用削減を図りました。会議等における飲料提供は、やむを得ない場合を除き、紙パックまたは缶飲料とします。</p>
四谷保健センター	<p>本来不燃ごみであるはずのものが可燃ごみとして捨てられることを防いだり再生利用可能な紙類の分別をしたりできるよう、分別の仕方について掲示による周知を行ないます。</p>	<p>汚れていないプラスチックごみを新たにリサイクル業者に提供するようにしたこと、職員の昼食には再使用可能な容器での弁当を注文するようにしたこと、集会室利用者への持ち込みごみの削減の協力要請の成果により、可燃ごみが前年度比約48%削減となりました。</p>
落合第二中学校	<p>生徒会を中心にペットボトルや古本回収を行っています。制服リサイクルなどもPTAに協力してもらいます。定期的に行うことで、環境・リサイクルへの意識を持ってもらいます。</p>	<p>古本回収を「ぶっくデワクチン」のネーミングで生徒に呼び掛け、昨年よりも回収量を増やすことができました。ホームページなどにも活動を掲載しているので、地域・保護者にも学校での活動を知ってもらうことができ、意識啓発につながっています。</p>

(2) エネルギー使用量等の数値目標と評価

対象課・施設	目標	評価
新宿歴史博物館	<p>エネルギー(電気・ガス・水道)使用量の昨年度比 1%削減を目標に重点的な取組事項を掲げ、使用量の削減に取り組めます。</p> <p>(30年度電気使用量 529,646kWh、ガス 24,278 m³、水道 1,929 m³)</p>	<p>令和元年度の電気使用量は 479,893kWh (昨年度比 90.6%)、ガス使用量は 15,326 m³(昨年度比 63.1%) 水道使用量は 1,877 m³ (昨年度比 97.3%) とそれぞれ下回りました。館の改修工事や新型コロナの影響を受け例年より実質 3 ヶ月開館日が少なかった影響もありますが、開館していた 6・7・8 月の電気・ガス・水の使用量がすべて前年度を下回っており、休館期間以外でも削減に努めることができました。また、LED の導入も実施し環境保全へ取り組みました。</p>
本塩町児童館	<p>電気使用量の前年度比 1%を目標に児童館と連携し年度初め職員会議の際に前年度の使用状況を資料としての会議を行い、建物全体で使用量の削減に取り組みました。(平成 30 年度電気使用量 76,380kwh)</p>	<p>平成 31 年実績 74,034kwh、前年比 96.9%(▲3.1%)を達成できました。達成要因としてはコロナ感染予防対策による利用自粛もありましたが、全職員が館内見回り時における電源チェック、温度管理を活動目標として意識を高めてきたことでもあります。</p>
教育支援課	<p>平成 30 年度の再生紙購入枚数 518,500 枚の 1%削減を目指します。(目標：年間購入枚数 513,315 枚)</p> <p>①両面コピー・割り付け印刷の徹底 ②可能な範囲での裏紙使用 ③資料配布削減、電子回覧の励行</p>	<p>①両面コピーを励行しました。 ②可能な限り裏紙使用をしました。 ③打ち合わせ等の資料について、配布は極力避け、回覧やスキャナ添付による周知を図りました。</p> <p>以上の取組により、用紙使用量が削減され、目標を達成することができました。</p>
鶴巻幼稚園	<p>裏紙利用や使える部分の再利用、回覧やメールの転送、配布する文書の部数の適正化を図り、昨年度より 1%削減を目指します。</p>	<p>裏紙利用、回覧やメールの転送などに努め、使用する用紙を 1%以上削減することができました。更に、コピー機の青字印刷機能を活用し、用紙を再利用することも取り入れました。</p>